

## 創立150周年記念イベント特集号

厚狭高校は来年度に創立150周年を迎え、令和5年11月2日に記念式典を予定しています。その1年前のキックオフとして、イベントを北校舎、南校舎それぞれで実施しました。今号では、南校舎定時制課程で12月1日に実施したイベントの様子を中心に御紹介します。

### 厚狭高 150年の歴史～生徒会館で学ぶ～



現生徒会館に旧礼法室を再現

本校には、德基高等女学校（本校の前身）の旧礼法室で撮影された大正初期の写真が残っています。現生徒会館の室内は、この旧礼法室そっくりで、昭和38年の校舎建替え時に、移築されたものではないかと思われます。

イベントでは、厚狭毛利家菩提寺の洞玄寺住職 江澤正思 様、茶道柴山流師範 江澤直子 様を講師にお迎え

し、この写真を基に、旧礼法室を再現し、和装と煎茶道の体験や、本校の歴史の学習をしました。

床の間に松と南天を掛け、当時と同じ掛け軸を掛け、香をたくとともに、本校同窓生で貸衣装店を営む木下陽子様により、生徒が羽織・袴の和装に着替えると、写真と同じ授業風景が再現できました。



大正初期「作法」の授業風景



松と南天を掛けて  
書軸を掛ける

煎茶道の体験では、和装に加え、なれない動きに戸惑いながらも、ふるまいの美しさに触れました。また、講話「毛利勅子先生の思いを今につなぐ」では、床の間の掛け軸に書かれている「友を大切に、共に学び、常に気高く接しよう」という初代校長の思いを知ることができました。最後に、活動の振り返りとして、“厚狭高生として誇りをもって頑張りたいこと”を生徒一人ひとりが宣言し、イベントを終わりました。先輩諸氏と同じ場、同じ服装で本校の歴史に思いを馳せたこの1日は、生徒たちにとって人生の記憶に残るものとなりました。



煎茶道の体験

毛利勅子(右)と毛利元美(左)の直筆の書



### 道徳教育講演会



チームの大切さを学ぶ

9月29日に市立山口東京理科大学を訪問し、学生フォーミュラチームを指導されている貴島孝雄 名誉教授にチームの大切さについて講話をしていただきました。引き続き学生の皆様とトークセッションを行い、チームの力をテーマに意見交換をしました。

また、貴島名誉教授のご厚意で、フォーミュラカーの見学や、溶接の体験も行わせていただきました。

### 勤労青少年奨励金伝達式



厚狭地区社会福祉協議会様から、働きながら学んでいる厚狭地域在住の生徒（左から3人目）に奨励金を授与いただきました。温かな御支援ありがとうございました。